



2021年度決算・ 2022-24年度中期経営計画説明会

2022年5月27日
リズム株式会社
(東証プライム 7769)

〔Ⅰ〕 2021年度（2022年3月期）決算

〔Ⅱ〕 中期経営計画（2022-2024年度）

〔Ⅲ〕 トピックス

注：本資料中、特段の注記がある場合を除き、金額は切り捨て、年は事業年度(4月～翌3月)を表します。

[I] 2021年度（2022年3月期）決算

(百万円)

	2020年度	2021年度	前期比	業績予想比	業績予想
売上高	27,304	29,999	2,695	1,299	28,700
国内売上	16,388	15,461	-927	—	—
海外売上	10,916	14,538	3,622	—	—
海外売上比率	40%	49%	9%	—	—
営業利益	318	892	574	192	700
営業利益率	1.2%	3.0%	1.8%	0.6%	2.4%
経常利益	588	1,286	698	286	1,000
経常利益率	2.2%	4.3%	2.1%	0.8%	3.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	-1,262	1,031	2,294	181	850
当期純利益率	-4.6%	3.4%	8.0%	0.4%	3.0%
1株当たり親会社株主に 帰属する当期純利益（円）	-152.90	124.92	277.82	—	—
期末日為替レート (US\$=¥)	110.71	122.39	11.68	7.39	115.00
期中平均為替レート	105.96	111.55	5.59	—	—

営業利益 増減要因（前期比）

プラス要因

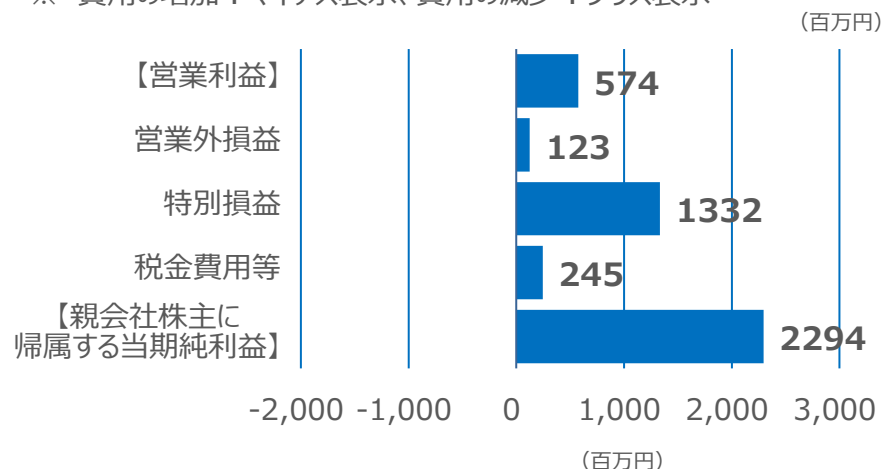
- 精密部品事業の売上増加
 - ・ コロナ収束傾向に伴う受注回復・操業度アップ
 - ・ 産業機械・車載・家電関連部品の好調

マイナス要因

- 国内小売市場回復の遅れ等による生活用品事業の売上低迷
- 半導体・原材料の価格高騰
- 国際物流混乱に伴う運送費の増加
- 人件費の増加

利益インパクト（前期比）

※ 費用の増加：マイナス表示、費用の減少：プラス表示



主な要因

前期比

【営業外損益】

受取配当金	15
為替差益	35
補助金収入	105
為替差損	43

【特別損益】

投資有価証券売却益	7
早期退職関連費用	1,501
減損損失	-69
のれん減損損失	-121

【税金費用等】

過年度法人税等	105
法人税等調整額	291

3期連続の最終赤字から単年度黒字転換

✓ 前期比増収・大幅増益。業績予想を上回る増益を達成

■ 売上高	299億円	(前期比+9.9%、業績予想比+4.5%)
■ 営業利益	8.9億円	(前期比+180.5%、業績予想比+27.6%)
■ 営業利益率	3.0%	(前期比+1.8%、業績予想比+0.6%)
■ 親会社株主に帰属 する当期純利益	10億円	(前期赤字から黒字転換、業績予想比21.4%)

✓ 精密部品事業は、コロナ前水準まで回復し、全体を牽引

✓ 生活用品事業は、構造改革への取り組み途上、営業赤字

✓ 株主還元は、配当性向30%以上の基本方針に基づき、37円50銭



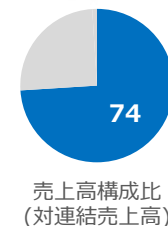
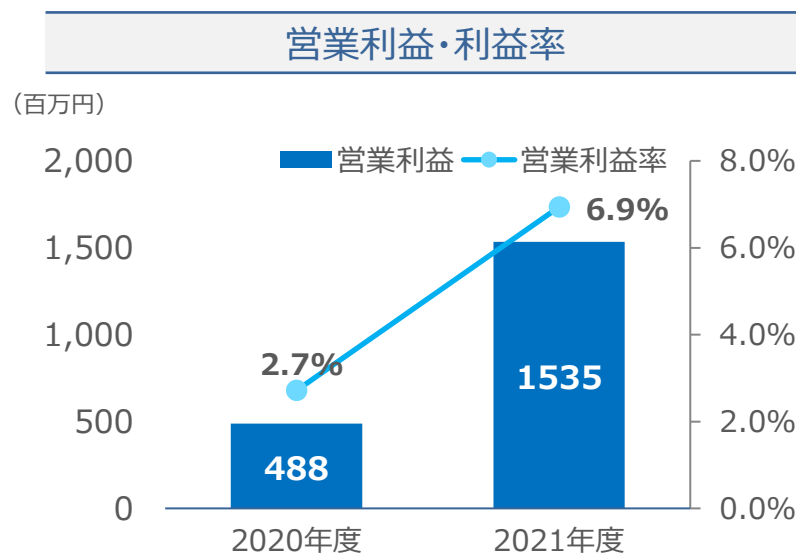
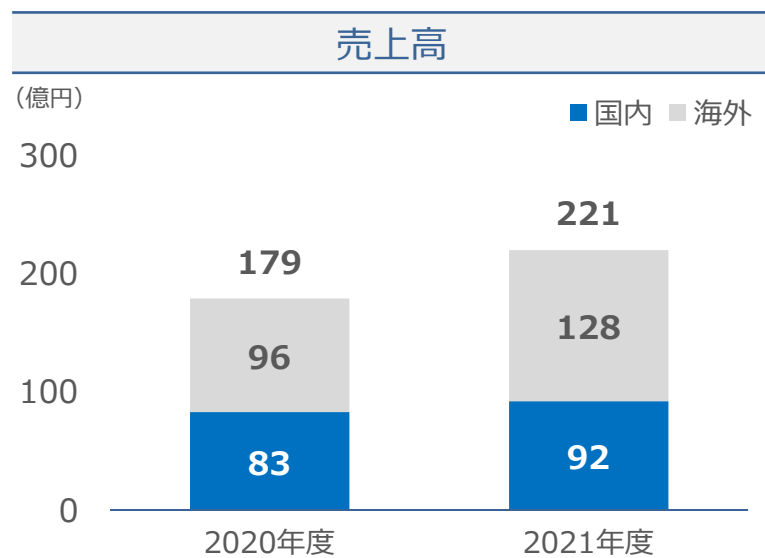
(百万円)

	2020年度		2021年度		前期比	業績予想比	業績予想
	実績	%	実績	%			
売上高	27,304	100%	29,999	100%	2,695	1,299	28,700
精密部品事業	17,958	66%	22,133	74%	4,174	1,033	21,100
生活用品事業	8,717	32%	7,422	25%	-1,295	222	7,200
その他	629	2%	444	1%	-184	44	400
営業利益	318	1.2%	892	3.0%	574	192	700
精密部品事業	488	2.7%	1,535	6.9%	1,046	145	1,390
生活用品事業	234	2.7%	-174	-2.4%	-409	75	-250
その他	98	15.7%	64	14.5%	-34	-5	70
調整額	-503	—	-532	—	-28	-22	-510

%：売上高欄は構成比率、営業利益欄は売上高営業利益率

※2021年度よりセグメント区分及び名称を変更。2020年度実績は変更後の区分により集計

接続端子事業及びプレジジョン事業を統合→「精密部品事業」、時計事業→「生活用品事業」



総括

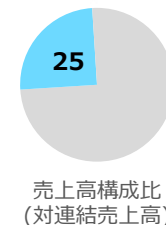
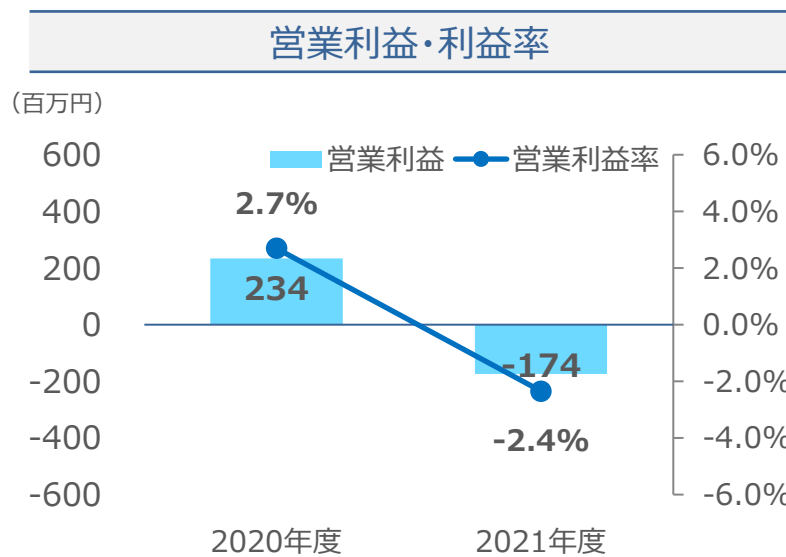
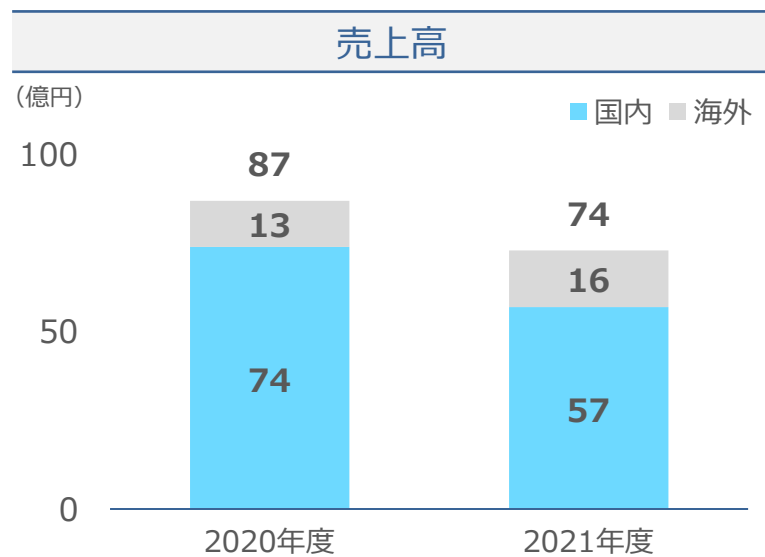
国内・海外ともに増収増益

【国内】

- 半導体製造装置などの産業機械関連、EV/HVなどの車載関連、エアコンはじめ家電関連部品が好調に推移

【海外】

- 上期はベトナム、インドネシア拠点においてコロナにより一時稼働制限を受けるも、下期以降回復
- 中国、シンガポール拠点では、車載・家電関連部品が堅調に推移



総括

国内は減収営業損失、海外は増収営業損失。全体では減収営業損失

【国内】

- コロナ禍で店舗販売が大きく低迷
- 半導体不足に起因する生産遅延、原材料価格の高騰、円安による仕入価格の上昇等が利益を押し下げ

【海外】

- 一部地域を除き、コロナによる行動制限の緩和が進み、売上は比較的好調に推移
- 生産拠点のある中国において人件費、原材料価格、物流費が高騰

貸借対照表

(百万円)

	2021年3月末	2022年3月末	2021年3月 末 比	主な増減要因
流動資産	21,827	24,069	2,242	
現金及び預金	10,276	9,941	-334	
受取手形及び売掛金	4,150	—	-4,150	
受取手形、売掛金及び契約資産	—	4,107	4,107	
電子記録債権	1,452	1,758	332	
棚卸資産	5,469	7,397	1,928	・精密部品 原材料在庫の積み増し ・生活用品 製品在庫の増加
その他	478	837	359	
固定資産	13,877	14,223	345	
有形固定資産	9,539	9,864	325	・五所川原新工場建設
無形固定資産	837	458	-378	
投資有価証券	1,912	2,067	154	
その他	1,587	1,832	245	
資産合計	35,704	38,293	2,588	
流動負債	5,142	9,178	4,036	
支払手形及び買掛金	2,938	3,563	624	
短期借入金及び1年以内返済長期借入金	765	505	-260	
1年以内返済社債	—	3,000	3,000	・2022年6月返済期限
その他	1,438	2,110	671	
固定負債	5,515	2,107	-3,407	
長期借入金	1,510	1,074	-436	
社債	3,000	—	-3,000	
その他	1,004	1,033	28	
負債合計	10,657	11,286	628	
純資産	25,046	27,006	1,959	
資本金	12,372	12,372	0	
資本剰余金	7,584	7,584	0	
利益剰余金	3,350	4,100	750	
自己株式	-275	-276	-1	
其他有価証券評価差額金	211	366	154	
為替換算調整勘定及びその他	1,803	2,859	1,056	
負債・純資産合計	35,704	38,293	2,588	
自己資本比率	70.1%	70.5%	0.4%	

(百万円)

	2020年度	2021年度	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,849	1,245	-604
投資活動によるキャッシュ・フロー	-585	-876	-291
フリーキャッシュ・フロー	1,264	369	-895
財務活動によるキャッシュ・フロー	-686	-1,203	-516
現金及び同等物の期末残高 (預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く)	10,276	9,941	-334

営業活動によるキャッシュ・フロー

2021年度

税金等調整前当期純利益	1,125
減価償却費	1,319
減損損失	69
のれん減損損失	121
のれん償却額	285
売上債権の増減額 (マイナスは増加)	-58
棚卸資産の増減額 (マイナスは増加)	-1,658
仕入債務の増減額 (マイナスは減少)	424
補助金収入	105

投資活動によるキャッシュ・フロー

2021年度

有形固定資産の取得による支出	-908
----------------	------

財務活動によるキャッシュ・フロー

2021年度

短期借入金の増減額	-313
(マイナスは減少)	
長期借入金の返済による支出	-434
配当金の支払額	-247
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-206

〔Ⅱ〕 中期経営計画（2022-2024年度）

I 中期経営計画の振り返り（2019-2021年度）

II 長期ビジョン

III 中期経営計画（2022-2024年度）

注：2022年3月23日「中期経営計画策定のお知らせ」において、「2021年度業績予想」として発表した数値については、本資料中では「確定値」に差替えております。（2022年5月27日追記）

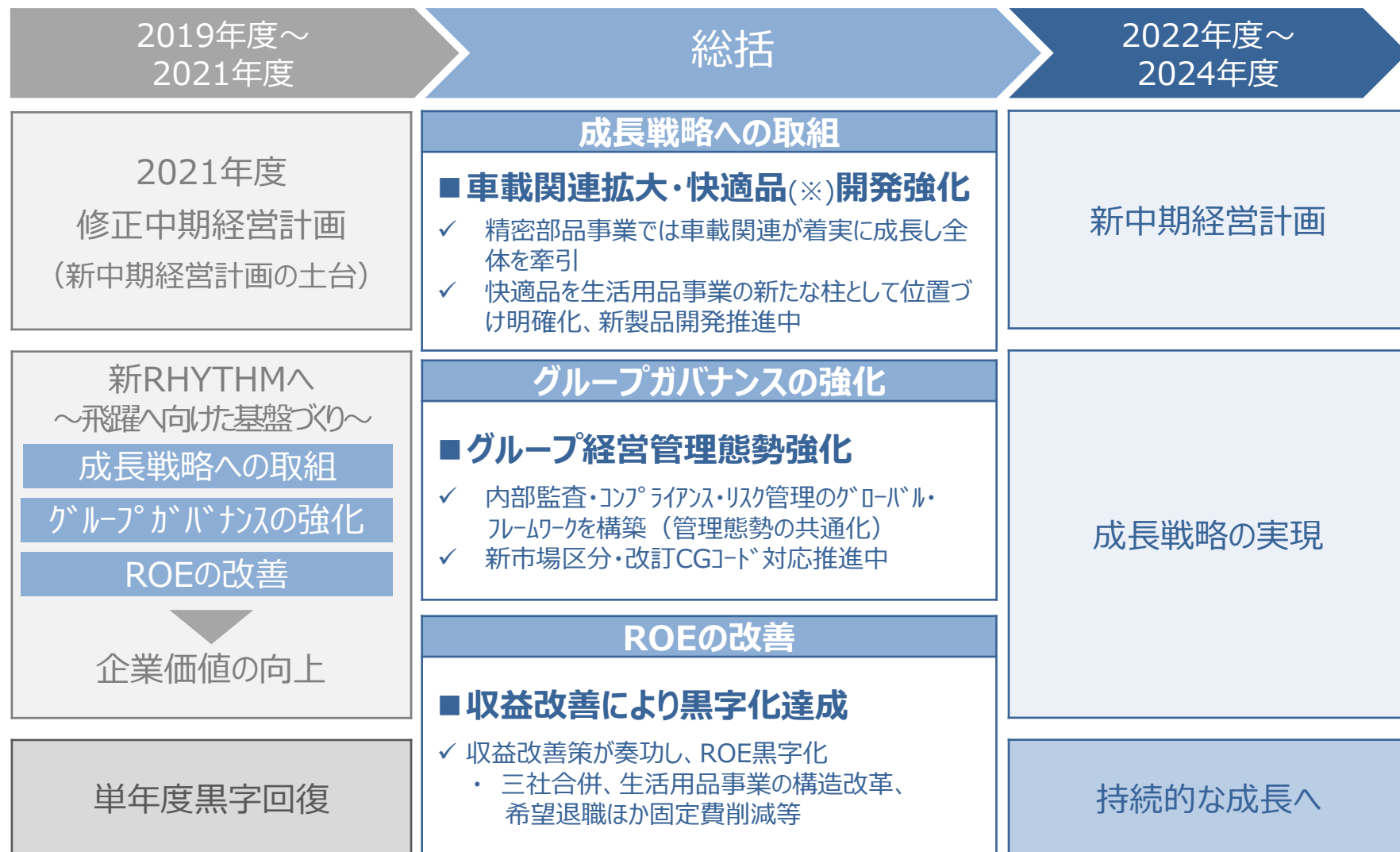
注：本資料中、特段の注記がある場合を除き、金額は切り捨て、年は事業年度(4月～翌3月)を表します。

I 中期経営計画の振り返り

(2019-2021年度)

1. 全体総括
2. 経営目標の達成状況

「飛躍へ向けた基盤づくり」に成果、最終年度黒字化達成



※防災行政ラジオ、モバイルファン、加湿器等人々の快適なくらしづくりにお役に立つ商材

I 中期経営計画の振り返り

(2019-2021年度)

1. 全体総括
2. 経営目標の達成状況

精密部品事業が全体を牽引し黒字転換

経営成績								
	2018年度 実績	2019年度 計画	2019年度 実績	2020年度 計画	2020年度 実績	2021年度 修正計画	2021年度 実績	計画比
売上高	31,016	31,500	29,911	32,800	27,304	27,600	29,999	2,399
精密部品事業	21,042	21,500	20,787	22,600	17,958	18,800	22,133	3,333
生活用品事業	9,588	9,600	8,764	9,800	8,717	8,400	7,422	-977
その他事業	383	400	358	400	629	400	444	44
営業利益	761	800	-234	1,300	318	330	892	562
精密部品事業	1,394	1,200	659	1,500	488	830	1,535	705
生活用品事業	-255	0	-417	200	234	0	-174	-174
その他事業	59	70	55	70	98	60	64	4
調整額	-438	-470	-532	-470	-503	-560	-532	27
経常利益	913	900	-22	1,420	588	530	1,286	756
親会社株主に帰属する 当期利益	-264	500	-1,139	920	-1,262	330	1,031	701
為替レート	111.00	120.00	108.83	120.00	110.71	105.00	122.39	17.39

計画 : 2019年5月30日発表「中期経営計画（2019.4～2022.3）」

修正計画 : 2021年5月14日発表「中期経営計画の修正に関するお知らせ」

※2021年度よりセグメント区分及び名称を変更

接続端子事業及びプレジジョン事業を統合→「精密部品事業」、時計事業→「生活用品事業」

3期連続当期赤字
から黒字転換

修正計画比では目標達成、飛躍へ向けた基盤づくりから「成長戦略の実現」へ

財務指標								
	2018年度 実績	2019年度 計画 実績		2020年度 計画 実績		修正計画	2021年度 実績	計画比
営業利益率	2.5%	2.5%	-0.8%	4.0%	1.2%	1.2%	3.0%	1.8%
営業利益（億円）	7.6	8.0	-2.3	13	3.1	3.3	8.9	5.6
ROE	-0.9%	1.9%	-4.2%	3.3%	-5.0%	4.3%※	4.0%	-0.3%
ROA	-0.7%	1.4%	-3.0%	2.3%	-3.5%	3.0%※	2.8%	-0.2%
連結売上高（億円）	310	315	299	328	273	276	299	23
海外売上高比率	38%	42%	43%	46%	40%	50%※	49%	-1%
車載関連売上高（億円）	74	—	76	—	67	110※	87	-23

※計画：2019年5月30日発表「中期経営計画（2019.4～2022.3）」

- 営業利益・利益率 精密部品事業がコロナ前水準まで業績回復、**修正計画達成**
- ROE・ROA **黒字転換**
- 連結売上高 生活用品事業の落ち込みを精密部品事業がカバー、**修正計画達成**
- 海外売上高比率 **精密部品事業では58%、全体では49%**
- 車載関連売上高 **金額ベース2018年度比+13億円、売上構成比率ベース+5.2%**

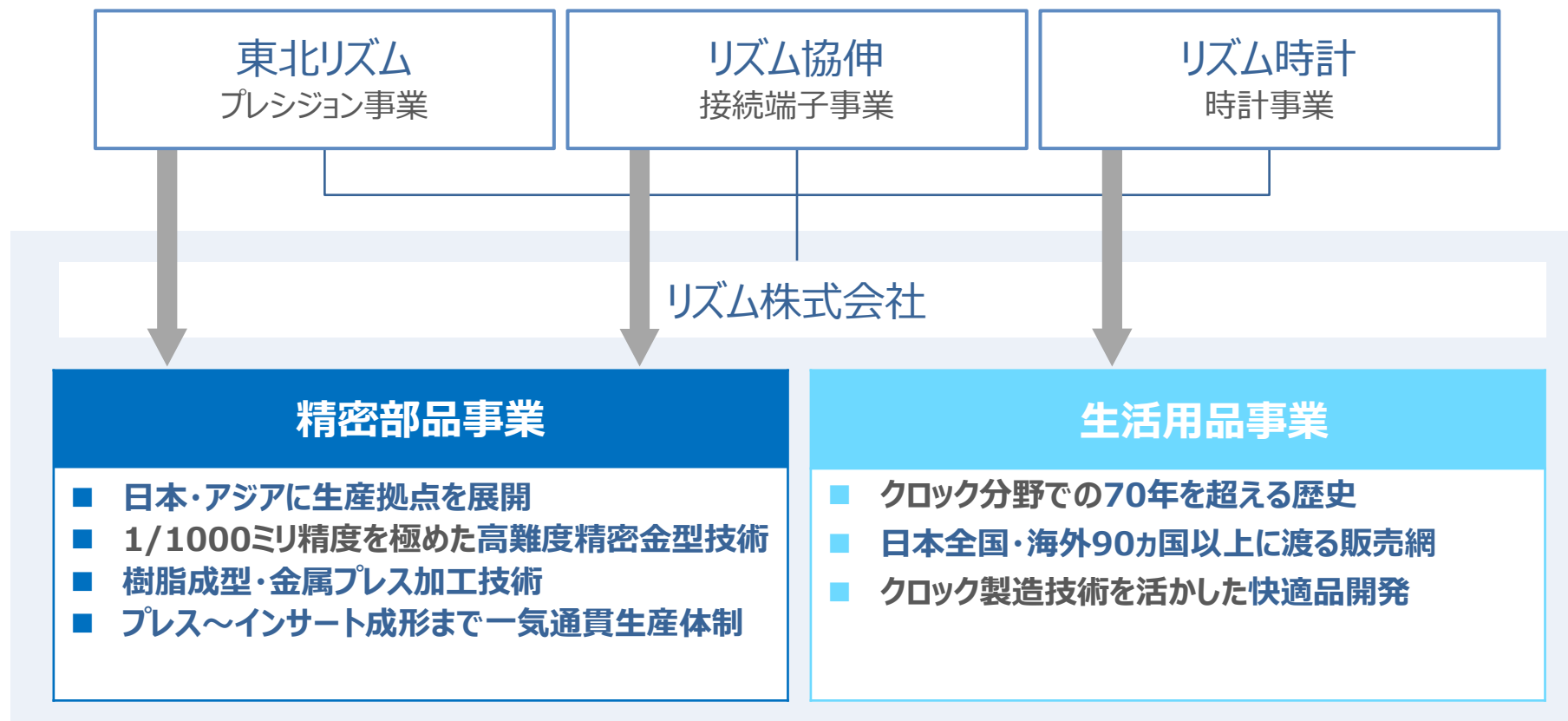
Ⅱ 長期ビジョン

1. 現在の事業構造・強み
2. 概要

強みを活かし、収益力強化と持続的成長へ

三社合併・事業改革

グループシナジー効果をテコに、
これまでの時計事業中心の会社から精密部品事業を成長ドライバーとする成長企業へ舵を切る



Ⅱ 長期ビジョン

1. 現在の事業構造・強み
2. 概要

外的環境

企業の経営姿勢・存在意義が問われる時代に

- サステナビリティ経営
- コロナによるライフスタイルの変化
- デジタル革命
- モビリティ革命
- クロック市場の縮小

内的環境

“新生リズム” 飛躍へ向けた基盤づくりを推進

- 国内基幹三社合併・組織再編
- 事業区分変更
- 生活用品事業の構造改革
- 社会的信頼回復への取組継続

長期 ビジョン

もの造りで圧倒的な強さを発揮し、自ら変化を作り出す企業へ

売上500億円

営業利益50億円

利益率10%

事業全体

- 海外売上高比率50%超のグローバル企業へ

精密部品

- 車載関連事業の更なる拡大と新たな成長事業の確立へ

生活用品

- 快適品事業を成長軌道へ

Ⅲ 中期経営計画 (2022-2024年度)

1. 中期経営計画の位置づけ
2. 基本方針と戦略の骨子
3. 経営目標
4. 事業戦略
5. 財務戦略・資本政策
6. サステナビリティ戦略
7. 経営基盤
8. 株主還元
9. プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

経営
理念

たゆみない創造と革新を続け、
豊かで楽しい安全な社会づくりに貢献する

長期ビジョン
(ありたい姿)

もの造りで圧倒的な強さを発揮し、
自ら変化を作り出す企業へ

新中期経営計画

成長戦略の実現

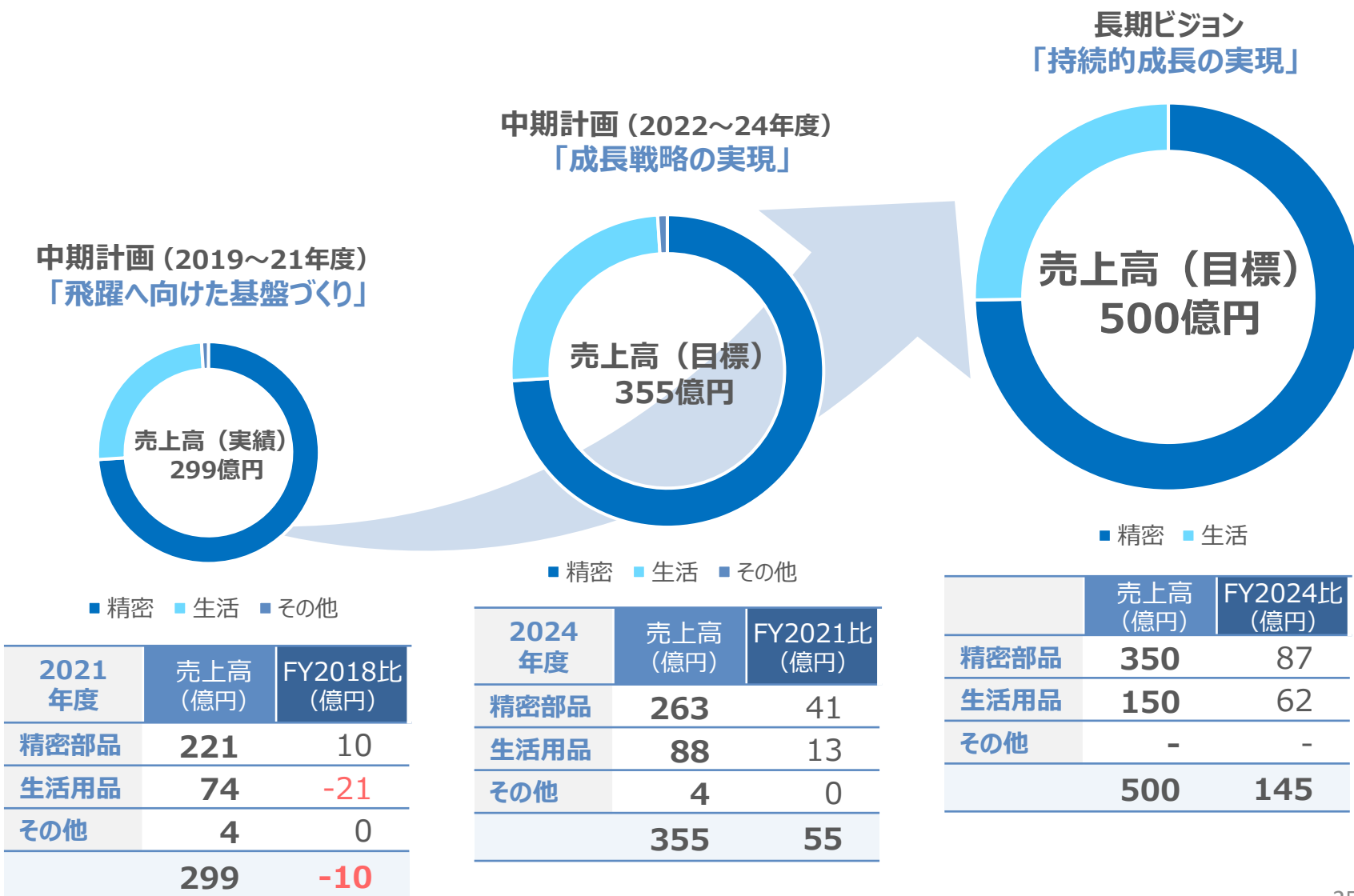
事業戦略

財務戦略

サステナビリティ戦略

経営基盤

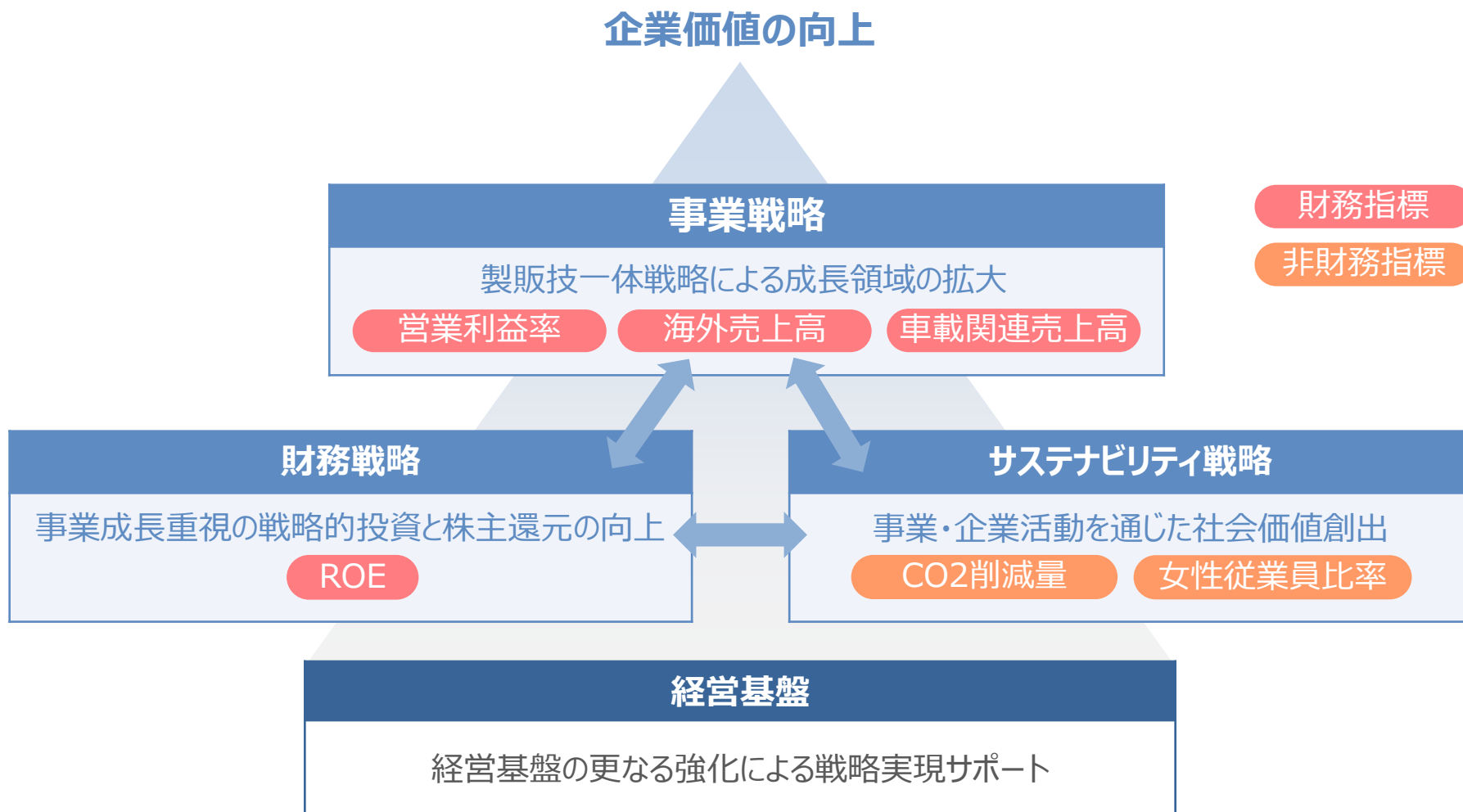
長期ビジョンに向けた「成長戦略の実現」の3年間と位置づけ



Ⅲ 中期経営計画 (2022-2024年度)

1. 中期経営計画の位置づけ
2. 基本方針と戦略の骨子
3. 経営目標
4. 事業戦略
5. 財務戦略・資本政策
6. サステナビリティ戦略
7. 経営基盤
8. 株主還元
9. プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

経営戦略の3つの柱とそれを支える経営基盤により企業価値向上を実現



Ⅲ 中期経営計画 (2022-2024年度)

1. 中期経営計画の位置づけ
2. 基本方針と戦略の骨子
3. 経営目標
4. 事業戦略
5. 財務戦略・資本政策
6. サステナビリティ戦略
7. 経営基盤
8. 株主還元
9. プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

2024年度売上高355億円、営業利益20億円の達成

売上・利益計画

	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画	2024年度 2021年度比
売上高	29,999	30,700	33,000	35,500	5,500
精密部品事業	22,133	22,700	24,600	26,300	4,166
生活用品事業	7,422	7,600	8,000	8,800	1,377
その他事業	444	400	400	400	-44
営業利益	892	1,000	1,600	2,000	1,107
精密部品事業	1,535	1,760	2,100	2,300	764
生活用品事業	-174	-280	0	200	374
その他事業	64	60	70	75	10
調整額	-532	-540	-570	-575	-42
経常利益	1,286	1,300	1,850	2,250	963
親会社株主に帰属する 当期利益	1,031	1,000	1,300	1,600	568
為替レート	122.39	120.00	120.00	120.00	-2.39

持続的な成長のため、資本効率を高める経営へ

財務指標

	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画	2021年度比
営業利益率	3.0%	3.3%	4.8%	5.6%	2.6%
ROE	4.0%	3.8%	4.7%	5.6%	1.6%
海外売上高比率	49%	46%	48%	48%	-1%
車載関連売上高	87億円	105億円	110億円	120億円	33億円

売上



収益性



資本
効率性

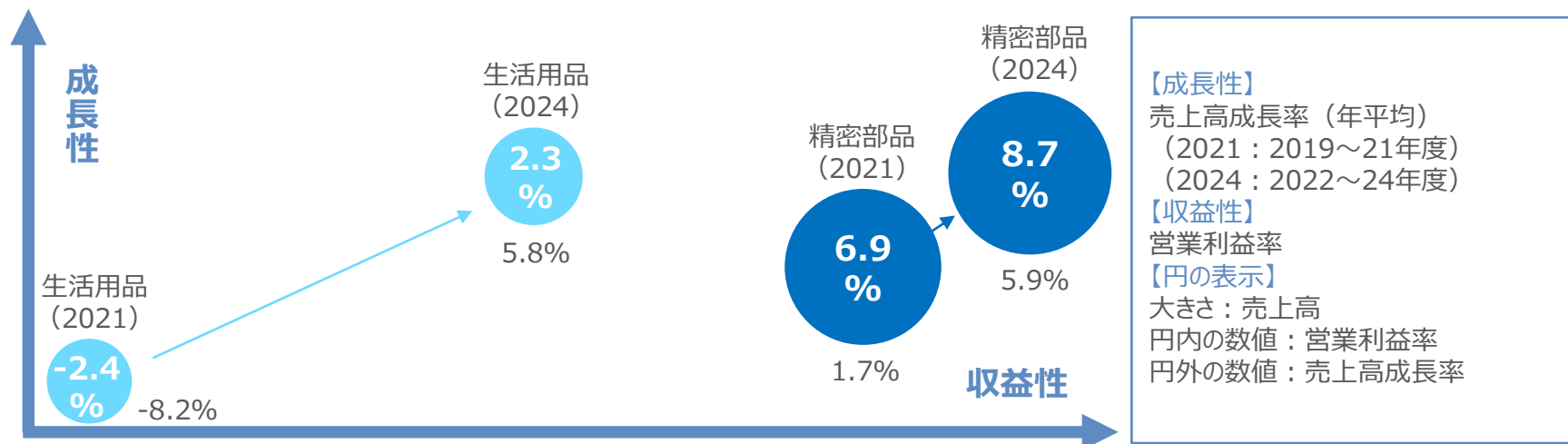
- 増収へ海外売上・車載関連売上の拡大
- 営業利益率5.6%以上を確保
- ROE8%以上の達成に向け、2024年度はROE5.6%必達

Ⅲ 中期経営計画 (2022-2024年度)

1. 中期経営計画の位置づけ
2. 基本方針と戦略の骨子
3. 経営目標
4. 事業戦略
5. 財務戦略・資本政策
6. サステナビリティ戦略
7. 経営基盤
8. 株主還元
9. プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

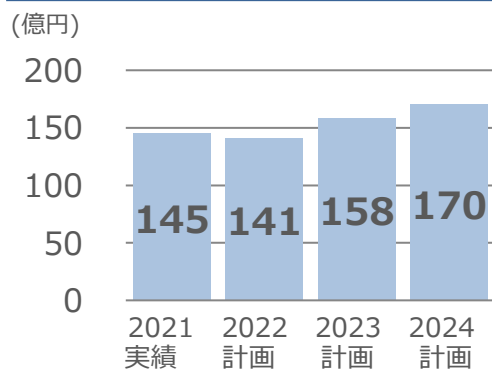
精密部品事業を成長ドライバーとし全社的成長を加速 事業戦略のキーは「海外」「車載」「快適品」の拡大

事業ポートフォリオ

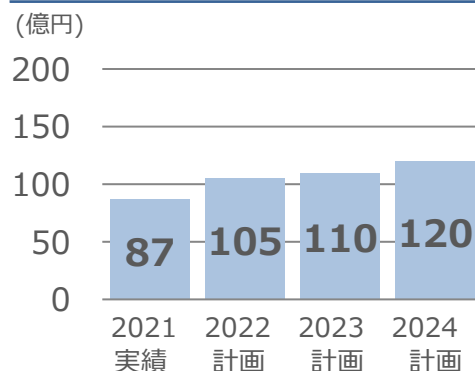


売上高目標

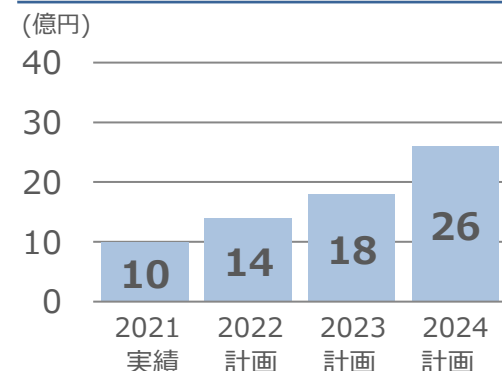
海外売上高



車載売上高

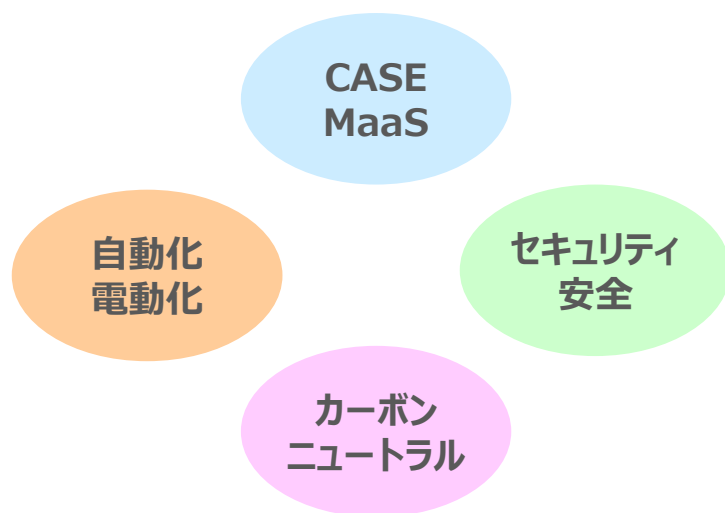


快適品売上高



超高難度精密技術を強みに、車載関連はじめ成長領域を拡大

外的環境



部品メーカーは大きな変革期に直面

環境変化をビジネスチャンスに転換
当社技術の活用領域拡大

内的環境

事業統合シナジーによる付加価値の創出

旧プレジジョン事業の資産

- 高難度精密金型・樹脂成型技術
- 最新設備・クリーンルーム完備の工場



旧接続端子事業の資産

- 金属プレス加工技術
- 自動車業界はじめ幅広い取引先

生産体制の強化



会津新工場 2 棟竣工
(2018年10月/2020年12月)



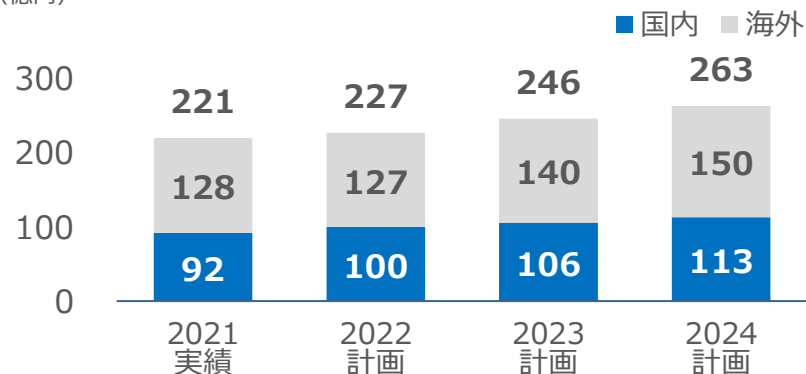
青森五所川原工場増築
(2021年4月)

超高難度精密技術を強みに、車載関連はじめ成長領域を拡大

事業戦略	
車載関連事業の拡大	- EV・自動運転/ADAS関連部品の拡大 - オリジナル部品の強化によるリズムブランドの確立
超高難度精密技術による成長領域の拡大	- セキュリティ・認証関連部品の拡大（カメラホルダー・センサー等） - ドローン等ユニット品の拡大 - 新たな高付加価値部品の開発
グループ間連携によるコスト競争力強化	- 工場別機能仕分け・技術目録整備の強化 - 自動化・効率化の推進 - 予兆管理・品質傾向分析の強化

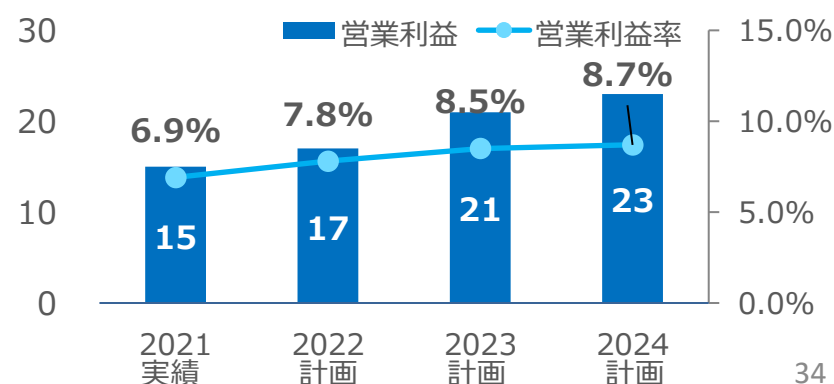
売上高

(億円)



営業利益・利益率

(億円)



クロックは主力製品に特化、新たな柱となる快適品を拡大

製品カテゴリ

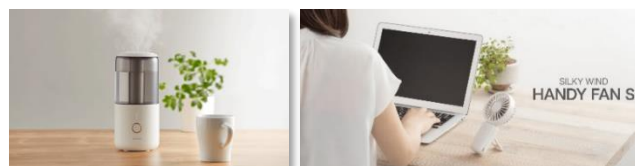
クロック



快適品

家電・雑貨

モバイルファン、加湿器など



Coming Soon...



- 新型ファン
- アロマディフューザー
- 超音波加湿器
- バスグッズ etc

防災関連

防災行政ラジオ
家庭用防災クロック



Coming Soon...

新機能
搭載モデル

私たちリズムは、暮らしに役立つ快適品事業の拡大を実現し、成長していきます。

PRODUCT PURPOSE

くらしのリズムを整える

PRODUCT PHILOSOPHY

良い時間を過ごす

DESIGN PHILOSOPHY

素直 ... シンプル（わかりやすい・整理された）
なじむ（くらしの一部）

高鳴り ... 演出（ひきつける力・ポイント）
好奇心・知性

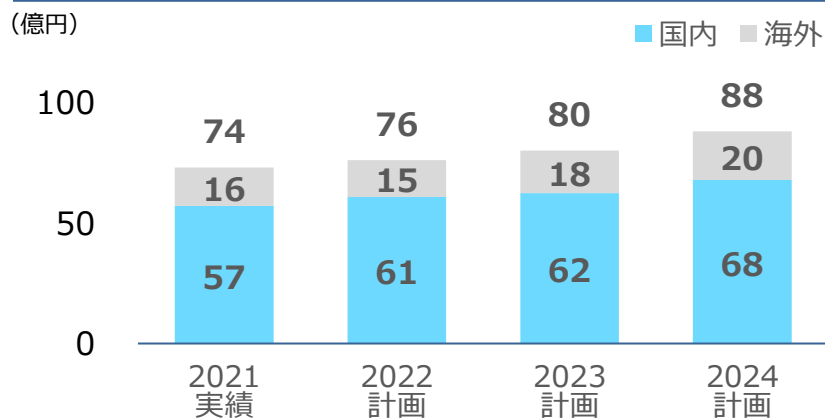
想う ... 大切な人と共有（たのしい・喜び）
気づかう（緻密・丁寧・細やか）

※上記パーパス・フィロソフィーは当社の快適品事業に関するものです。

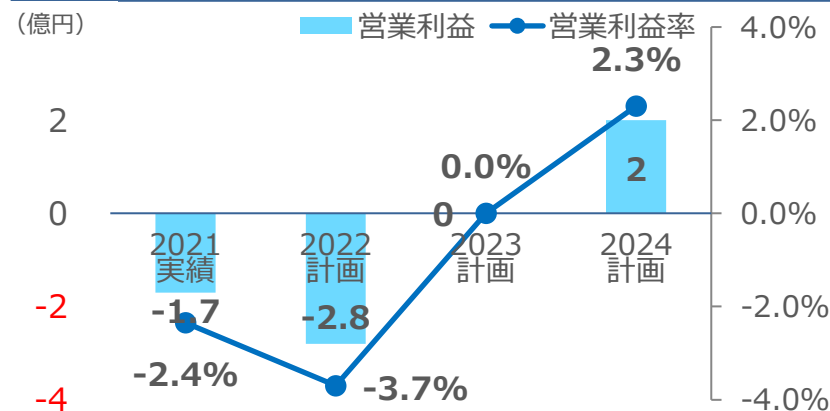
クロックは主力製品に特化、新たな柱となる快適品を拡大

事業戦略	
新たな柱となる快適品事業の確立	・ 製品ラインナップの拡充 ・ 企画・開発力の強化
クロック事業の維持・効率化	・ 主力製品への重点特化 ・ もの造り改革PJTによる生産効率化・QCD強化
D2C販売の強化	・ 快適品を中心としたD2C専任販売体制の確立 ・ 快適品販売に適した新販路の開拓 ・ グループ会社の直営店舗・ECサイトの活用

売上高



営業利益・利益率



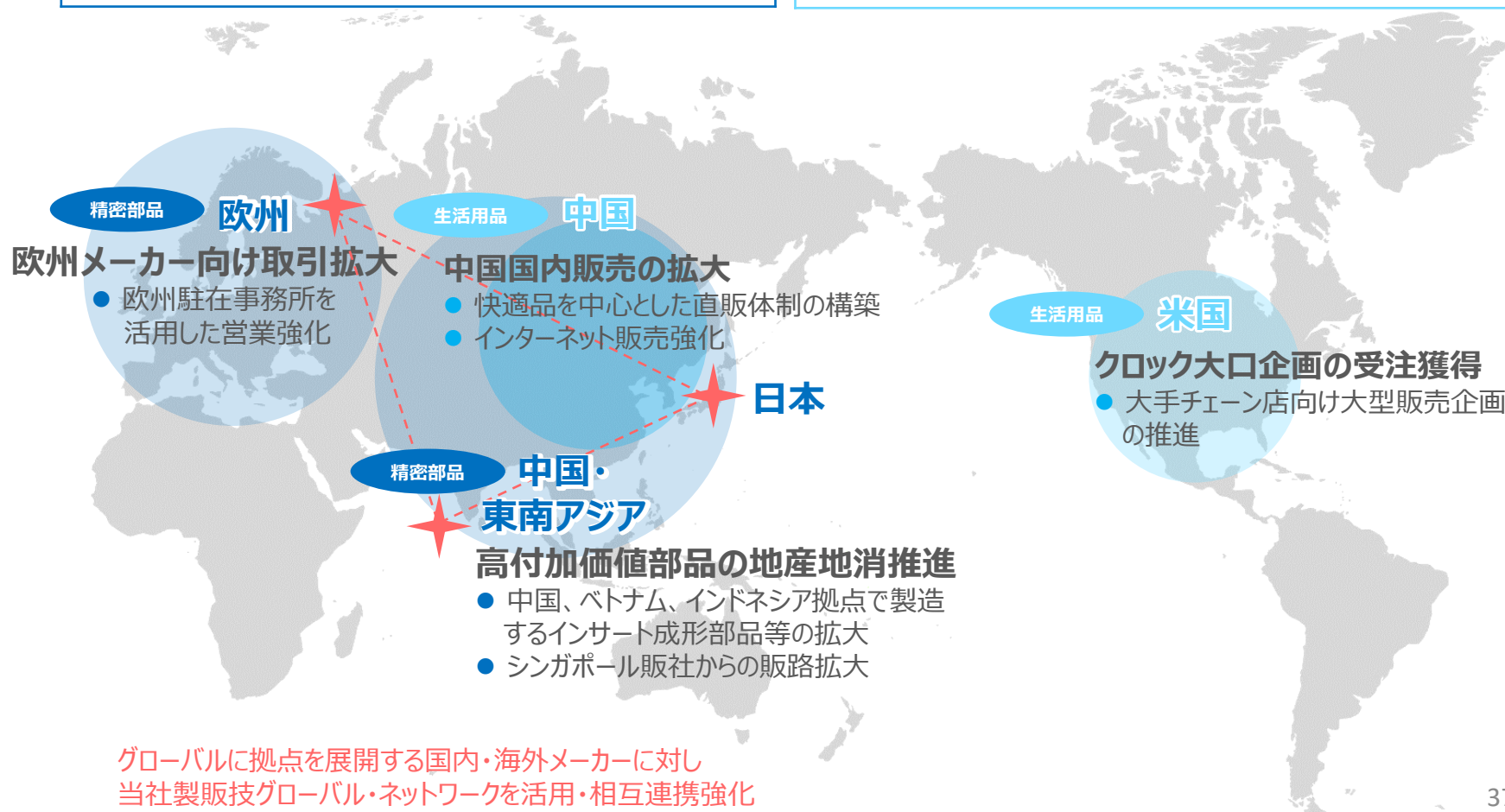
精密部品は中国含む東南アジア・欧州、生活用品は中国・米国市場を拡大

精密部品

■ EV・自動運転・家電関連の新規受注獲得

生活用品

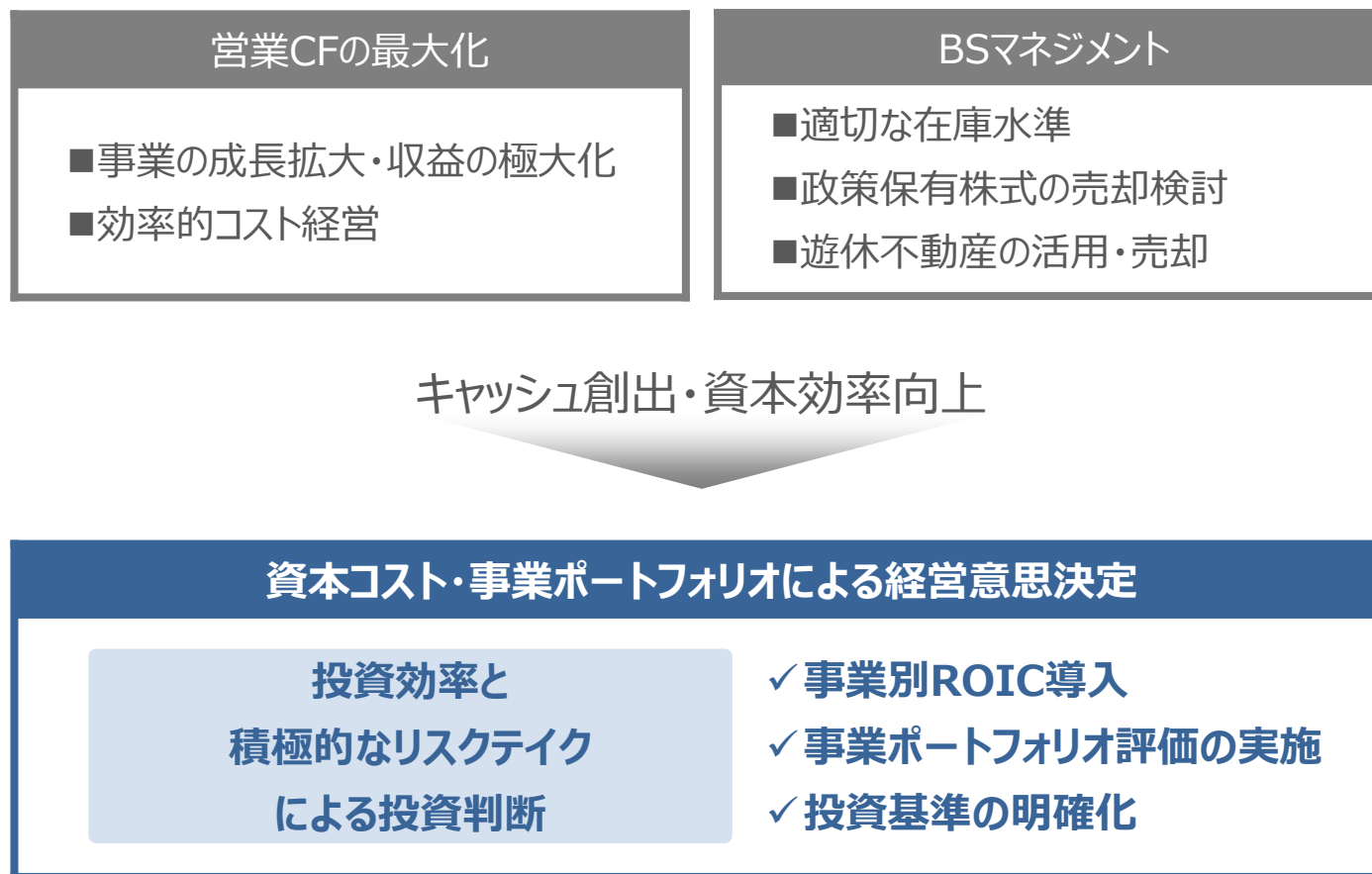
■ 中国・米国巨大市場向け企画の実現



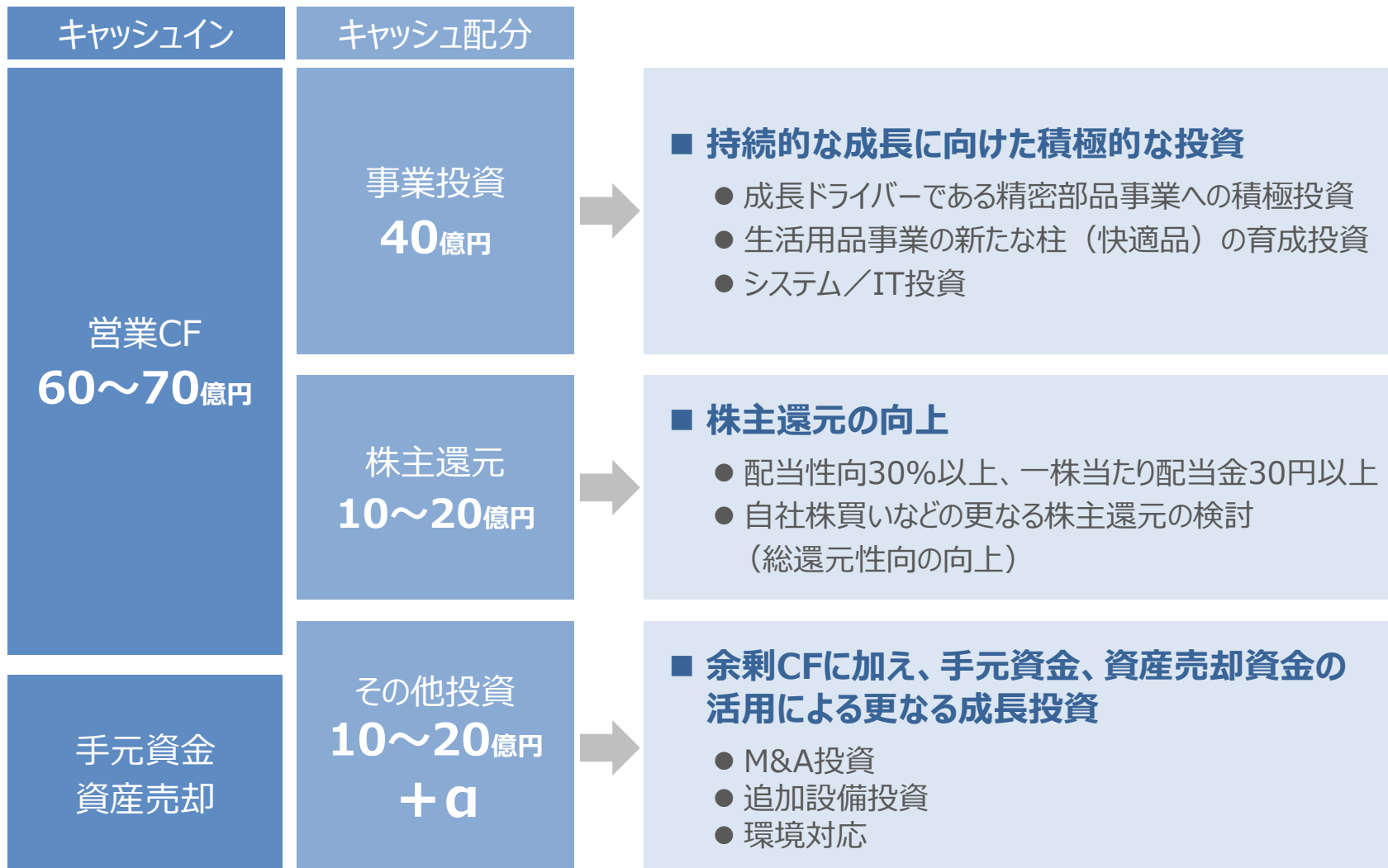
Ⅲ 中期経営計画 (2022-2024年度)

1. 中期経営計画の位置づけ
2. 基本方針と戦略の骨子
3. 経営目標
4. 事業戦略
5. 財務戦略・資本政策
6. サステナビリティ戦略
7. 経営基盤
8. 株主還元
9. プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

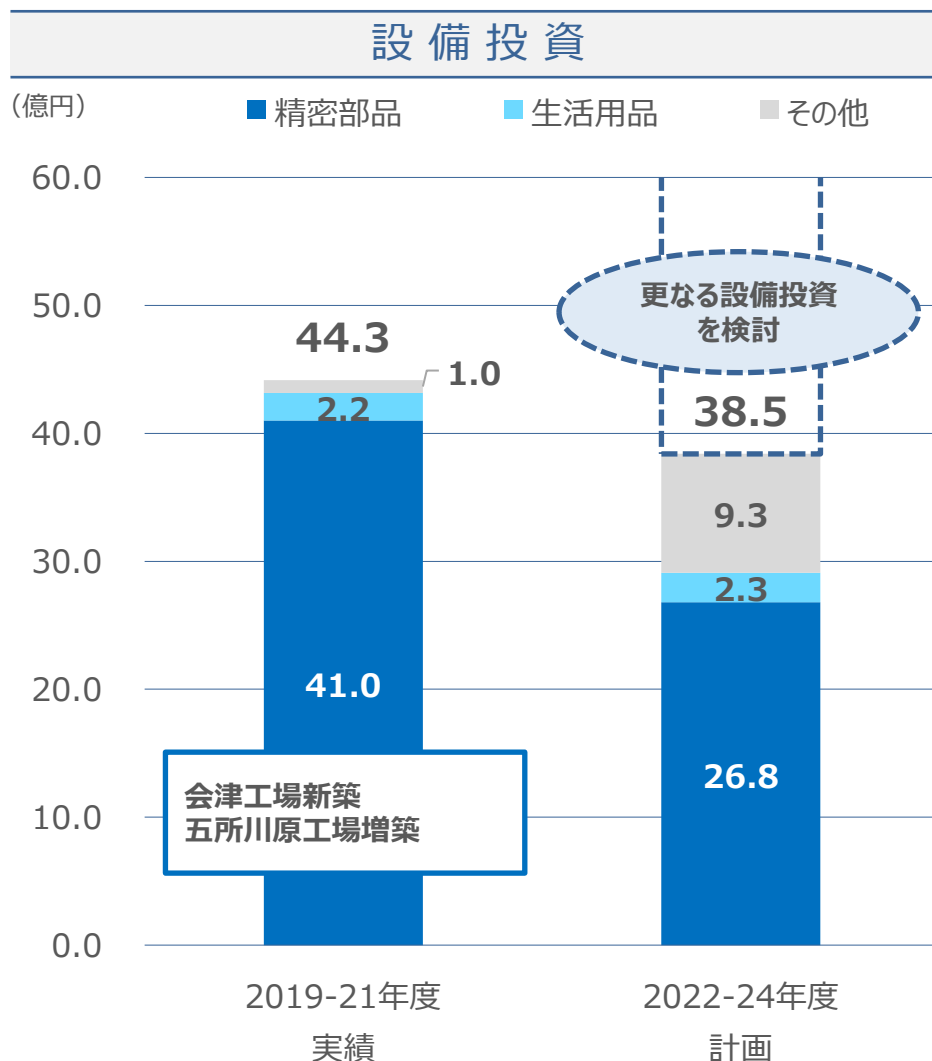
資本コスト・事業ポートフォリオ評価を踏まえた戦略的な投資判断



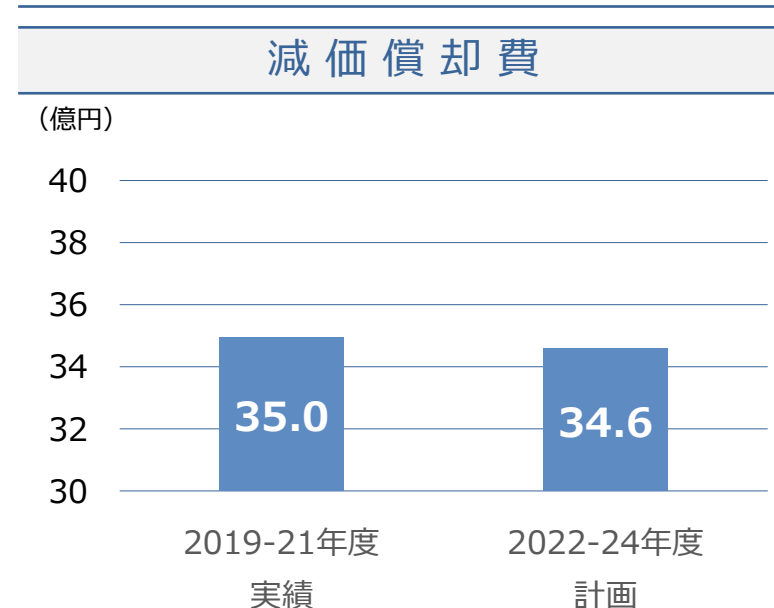
積極的な成長事業投資と株主還元の向上の両立を実現



事業戦略の遂行に向け厳選した成長投資を実行



主な設備投資計画内訳		
精密部品	26.8億円	プレス機、加工機、成形機、固定資産修繕
生活用品	2.3億円	金型、固定資産修繕
その他	9.3億円	システム・IT投資
合計	38.5億円	



Ⅲ 中期経営計画

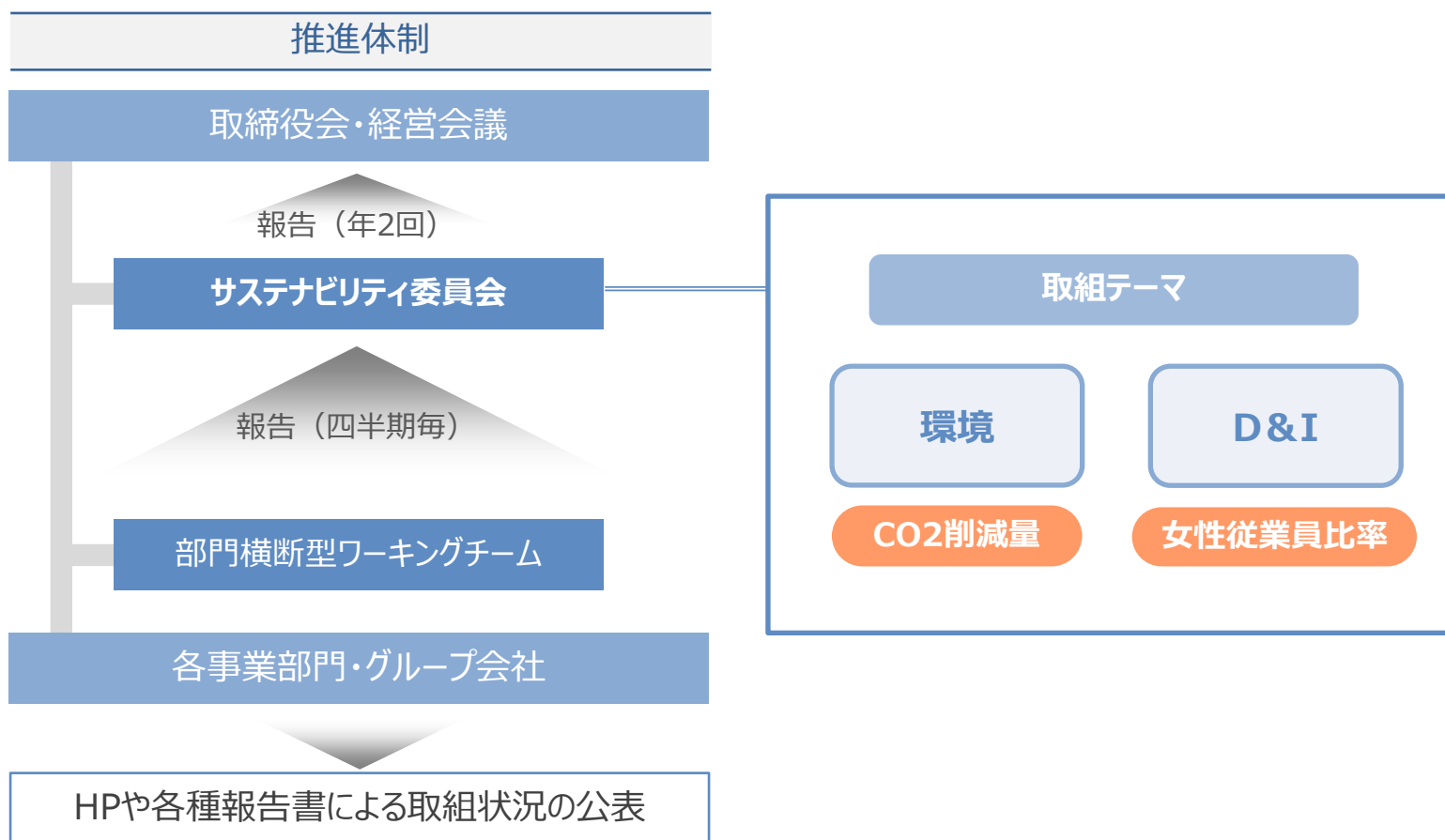
(2022-2024年度)

1. 中期経営計画の位置づけ
2. 基本方針と戦略の骨子
3. 経営目標
4. 事業戦略
5. 財務戦略・資本政策
6. サステナビリティ戦略
7. 経営基盤
8. 株主還元
9. プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

サステナビリティ経営のフレームワークを構築し、全社横断的な取組を推進

基本方針

経営理念「たゆみない創造と革新を続け豊かで楽しい安全な社会づくりに貢献する」を基本的な考え方として、全従業員がその実践を通じて持続的な企業価値向上を目指す



「環境」「D&I」への取組を通じた社会価値創出

環境 電力使用量削減によるCO2排出量の削減 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 11 住み続けられる まちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を	
非財務指標	具体的取組
2030年度 CO230%削減 2050年度 実質ゼロ ※ 削減割合は、2018年度比とする ※ スコープ1+2対象とする	■再生エネの利用促進 ● 会津工場の屋根へソーラーパネルを設置 ● 太陽光発電によるグリーン電力の利用 ■自社工場の省エネ化推進 ■環境配慮型製品・パッケージの拡大 ● 電池レス／取説のQR化／リサイクル資材活用等
D&I ジェンダーギャップ解消・多様な人材の活躍 5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等 をなくそう	
非財務指標	具体的取組
女性従業員比率 25%以上	■女性採用強化 ■育児休暇取得の推進 ■2024年度プラチナくるみん(※)の取得 ■障がい者・外国人等多様な人材が活躍できる 制度・職場環境づくり ※厚生労働省による「子育てサポート企業」の認定制度

Ⅲ 中期経営計画 (2022-2024年度)

1. 中期経営計画の位置づけ
2. 基本方針と戦略の骨子
3. 経営目標
4. 事業戦略
5. 財務戦略・資本政策
6. サステナビリティ戦略
7. 経営基盤
8. 株主還元
9. プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

強固な経営基盤が3つの戦略（①事業、②財務、③サステナビリティ）の実現を支える

ガバナンス グループガバナンスの高度化



具体的取組

- 改訂CGコード全83項目コンプライ
- 内部監査、コンプライアンス、リスク管理のグローバル・フレームワーク（グループ共通管理態勢）の定着・高度化
- グローバル経営管理態勢の強化
 - 経営サポート機能・モニタリング機能の両面での機能発揮

改訂CGコード 主な取組

項目・原則		対応状況・取組方針
1 - 2 ④	議決権電子行使プラットフォームの利用、招集通知の英訳	2022年度よりプラットフォーム利用及び招集通知の英訳を開始
2 - 4 ①	多様性の確保について測定可能な目標、人材育成方針、社内環境整備方針を開示すべき	多様性確保の目標と人材育成・社内環境整備方針を2022年度開示
3 - 1 ②	開示書類のうち必要とされる情報について、英語での開示・提供を行うべき	2022年度より決算短信、招集通知の英訳を開始
3 - 1 ③	TCFDに基づく開示の質と量の充実を進めるべき	2022年度よりサステナビリティ委員会を設置。TCFDに基づく開示のフレームワークを2024年度迄に構築
4 - 1 ③	後継者計画の策定・運用、適切な監督を行うべき	2024年度迄に後継者計画策定・運用を開始
4 - 8	独立社外取締役を少なくとも3分の1以上選任	現在、取締役8名中3名が独立社外取締役
4 - 10 ①	指名・報酬委員会の過半数を独立社外取締役とする	独立社外取締役を中心とするガバナンス委員会を設置済

強固な経営基盤が3つの戦略（①事業、②財務、③サステナビリティ）の実現を支える

人材 人材育成 働きがいの向上	IT ITインフラの最適化	SR(※) コミュニケーション強化
5 ジェンダー平等を 実現しよう 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等 をなくそう	8 働きがいも 経済成長も 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	8 働きがいも 経済成長も 11 気象防災に関する まちづくりを 17 パートナリシップで 目標を達成しよう
具体的取組	具体的取組	具体的取組
■ 人員構成表による適正体制の構築 ■ 階層別・年齢別研修制度の充実 ■ 「グローバル人材育成プログラム」の実施（国内・海外人材交流） ■ タウンミーティングの実施	■ 基幹システム入替 ■ DX推進 ■ グループIT統制の強化 ■ テレワーク環境の整備 ■ ITリテラシー教育の実施	■ 適切な情報開示と透明性の確保 ■ 取引先との共存共栄 ■ 地域のまちづくり貢献 パートナリシップ 構築宣言 ● 社会の安心・安全に貢献する製品の開発（防災行政ラジオ、EV・自動運転関連部品等） ● プロスポーツチームへの協賛

浦和レッズとの共同企画「リズムハートフルサッカー」



子どもたちへのお土産は
「モバイルファン」



※ Stakeholder Relations：ステークホルダーとの関係

Ⅲ 中期経営計画 (2022-2024年度)

1. 中期経営計画の位置づけ
2. 基本方針と戦略の骨子
3. 経営目標
4. 事業戦略
5. 財務戦略・資本政策
6. サステナビリティ戦略
7. 経営基盤
8. 株主還元
9. プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

株主還元の向上

- 配当基本方針：配当性向30%以上、一株当たり配当金30円以上
- 機動的な自己株式取得の検討（総還元性向の向上）

配当金の推移（利益計画に基づく試算）

	2021年度 実績	2022年度 計画	2023年度 計画	2024年度 計画
売上高（百万円）	29,999	30,700	33,000	35,500
当期利益（百万円）	1,031	1,000	1,300	1,600
一株当たり当期利益（円）※1	124.92	119.26	155.04	190.81
一株当たり配当金／年（円）※2	37.50	36	47	57
配当性向（%）※3	30	30	30	30

※1 自己株式を除かない全株式数で試算。

※2 計画に基づく試算であり、記載の配当を約束するものではありません。

※3 配当性向30%の場合の試算。

業績、手元資金、投資の状況に応じて30%以上の更なる配当を行う

Ⅲ 中期経営計画 (2022-2024年度)

1. 中期経営計画の位置づけ
2. 基本方針と戦略の骨子
3. 経営目標
4. 事業戦略
5. 財務戦略・資本政策
6. サステナビリティ戦略
7. 経営基盤
8. 株主還元
9. プライム市場上場維持基準の適合に向けた取組

上場維持基準の適合 に向けた基本方針

- 業績向上による時価総額の向上
- 流通株式比率の更なる向上

流通株式時価総額の増加に向けた考え方

適合計画書 2021年12月23日新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

	流通株式 時価総額 (百万円)	当期利益 (百万円)	株価 (円)	EPS (円)	PER (倍)	流通株式 比率	BPS (円)	PBR (倍)
2021年度	6,506	450	1,190	53.67	22.2	65.2%	3,040	0.39
2024年度試算	10,096	650	1,720	77.52	22.2	70.0%	3,040	0.57

2024年度計画数値

(1) 計画書PER（22.2倍）を前提とした試算

2024年度計画	24,811	1,600	4,227	190.81	22.2	70.0%	3,408	1.24
----------	---------------	--------------	-------	--------	------	-------	-------	------

(2) 目標株価（1,720円）を前提とした試算

2024年度計画	10,096	1,600	1,720	190.81	9.0	70.0%	3,408	0.50
----------	---------------	--------------	-------	--------	-----	-------	-------	------

(3) PBR（1倍）を前提とした試算

2024年度計画	20,003	1,600	3,408	190.81	17.9	70.0%	3,408	1.00
----------	---------------	--------------	-------	--------	------	-------	-------	------

2024年度当期利益は適合計画を上回る計画、流通株式時価総額100億円の達成を目指す

【Ⅲ】 トピックス

モバイルファン
Silky Wind Mobile 3

2022
4月
発売

想像を超えた大風量。
2重反転ファン、カラビナ付、3way



防水ケース（スマートフォン用）
MAGCASE S

2022
8月
発売予定

お風呂でスマホ、くつろぎの防水ケース



プールレス加湿器
MIST 300

2022
秋
発売予定

洗しやすい、
くつろぎの加湿器



コンパクト加湿器
MIST Mini

2022
秋
発売予定

ゆらぐあかりとアロマの香り、
くつろぎの加湿器



ファン式アロマディフューザー
AROMAFUN

2022
8月
発売予定

香りに包まれる、
くつろぎのアロマディフューザー



青森五所川原工場を増築

近年の精密部品事業拡大に伴い、手狭になった五所川工場の増築工事が無事完了し、2021年4月に落成式を迎えました。



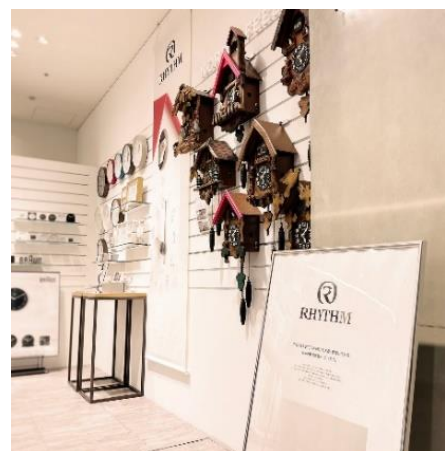
浦和レッズ共同企画 「リズムハートフルサッカー」を開催

2021年12月に元浦和レッズ選手を含むコーチたちによる小学生向けサッカー教室を開催し、地域社会・地域の人びととのコミュニケーションを深めました。



NORDIC FEELING YURAKUCHO 内に「RHYTHM STORE」オープン

2022年4月にグループ会社アイ・ネクストジーイーの直販店舗内に「RHYTHM STORE」をオープンいたしました。リズムのカッコクロック全モデルなどを販売しております。



本資料は当社をご理解いただくために作成されたものです。

本資料における予想、計画等将来に関する記述につきましては、当該時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績と異なる可能性がある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

広報IR担当窓口

リズム株式会社

経営企画部 相澤
作田

電話 048-643-7241（経営企画部直通）